



自分のことは、だれにも干渉されず自分で決めたい——
毎日毎日、いろいろなことを
自分はどのように判断して実行しているのか？
自分を見つめてみながら
これからのあるべき姿を考えてみませんか？

ある選択をするということは、その選択によって生まれるはずのマイナスをすべて背負うぞ、ということでやんしょ。 井上ひさし『青葉繁れる』

中学生だもの 自分で考え 判断し実行するのは あたりまえ。



あなたの中のどこかに「まわりの意見に流される自分」がかくれていますか？

自分を見つめて _____ 年 月 日

自分を見つめて _____ 年 月 日



こんな自分がいませんか？



だれかにまかせてしまえば、ラクチンだ。
逃げる事ができるから、知らんぷりができるから。
——でも
もう、だれにも指図さしずされたくない。とやかく言われたくもない。
自分で決めたいことだっていっぱいある。

だから本当はサヨナラしたいんだ。
はじめから逃げ道を考えている
そんな自分と。

中学生だもの 自分がすることは 結果まで深く 考える。



あなたのの中のどこかに「物事を深く考えない自分」がかくれていますか？

自分を見つめて 年 月 日

自分を見つめて 年 月 日



その考え、浅くはないですか？

行動する前にじっくり考えているだろうか？
その動機が自己中心的になってしまうことがないだろうか？
よく考えたつもりでも、結局自分のことしか考えていない…

自分は、まわりの意見に左右されないと胸を張るなら
それは、自分にとって他の人にとってもよいことだといえるか？
自己主張のつもりが「自己チュー」だなんて、カッコわるい。

——判断し、実行をするとき
よく考え、深く思いをめぐらすことから始めよう。



自律



自律について考えるとき反対の「他律」についてイメージすればよい。
他律とは、他の人の言いなりになりコントロールされる、ということ。

